

Imaging Team

掲載内容

1) 商品情報

- ・次世代イメージングソフトウェア “MetaMorph NX”につきて
- ・ Andor 社製 sCMOS カメラを MetaMorph で正式にサポートいたしました
- ・ Andor 社製 EM-CCD カメラ “iXon X3”につきて
- ・ PhotoFluor II の価格について
- ・ AC スイッチャー販売終了のお知らせ

2) 技術情報

- ・浜松ホトニクス社製 EM-CCD カメラ”ImagEM”の 64bit OS 対応状況につきて
- ・CoolSNAP HQ、cf、Cascadell などカメラボードが LVDS タイプの 64bit OS 未対応について
- ・PC のハードディスクデフラグメントについて

1) 商品情報

・次世代イメージングソフトウェア “MetaMorph NX”につきて

この度 MetaMorph Imageing Software シリーズでの MetaMorph ソフトウェアの次世代ソフトウェアとなる新製品が来年よりリリースされる事が決定いたしました。

このソフトウェアの名称は”MetaMorph NX”となります



MetaMorph NX

MetaMorph NX は現在ご好評いただいている MetaMorph をさらに使いやすく直感的に操作できるインターフェイスを実装した全てにおいて新しいソフトウェアとなります。

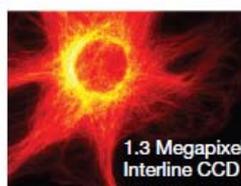
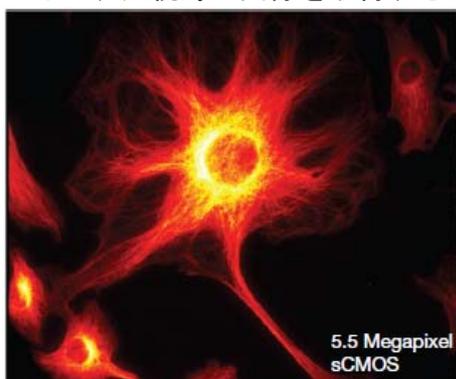
来月神戸で開催される BMB2010(日本分子生物学会)にて世界初公開となる実機での展示を行いますので、是非当社ブースにお立ちよりご覧いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、MetaMorph は引き続き販売を継続いたします。

・ Andor 社製 sCMOS カメラを MetaMorph で正式にサポートいたしました

この度 Andor 社より発売される予定の sCMOS センサ搭載の新型カメラを MetaMorph で正式にサポートいたしました。

このカメラの特徴として、1 素子 6.5um サイズ x 5.5 メガピクセルの高解像・高感度・低ノイズ、広視野の画像を取得することが可能です。



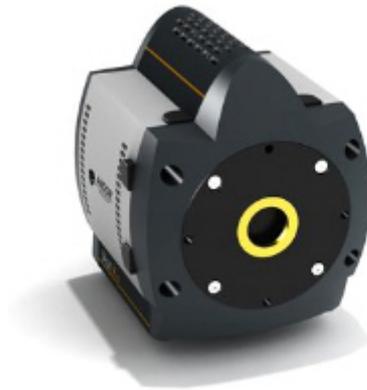
Field of View (FoV) comparison: sCMOS
v 1.3 megapixel interline CCD.

取り込み速度などの詳細仕様については当社担当までお問い合わせください。

なお、カメラの価格は定価 ¥3,090,000-(税抜)となります。

・ Andor 社製 EM-CCD カメラ “iXon X3”につきて

Andor 社よりリリースされています EM-CCD カメラシリーズ”iXon+”がこの度新機能を搭載した”iXon X3”となります。これに伴い、今後出荷させて頂く”iXon+”は全て”iXon X3”となります。価格については”iXon+”と同じ価格となります



現在 MetaMorph では SDK のサポート待ちで iXon X3 のフルサポートまだ未対応となっております。

なお、現在ご使用中の iXon+を iXon X3 にアップグレードする事も可能です。アップグレードにはカメラボードが CCI-23 タイプである事が条件であり、条件を満たせば定価 200,000 円でアップグレード可能ですので詳しくは当社担当までお問い合わせください。

・ PhotoFluor II の価格について

今年の 4 月のセールスノートで御紹介させていただきました 200W メタハラ光源装置 PhotoFluor II ですが、定価を以下の通り決定いたしました

- ・ 本体 : ¥ 630,000-
- ・ 顕微鏡接続キット : ¥ 170,000-
- ・ 交換用バルブ : ¥ 90,000-



ご不明な点がございましたら当社担当までお問い合わせください

・ AC スイッチャー販売終了のお知らせ

MetaMorph より TTL トリガーを出力することで AC 電源の ON/OFF および、複数の Input,Output 端子を有してご好評いただいていた AC スイッチャーですが、誠に申し訳ございませんが販売終了とさせていただきます。

本ユニットの後継モデルは現在のところ予定しておりません。

ご不便をおかけいたしますが、ご了承頂きますようお願い申し上げます。

技術情報

・浜松ホトニクス社製 EM-CCD カメラ”ImagEM”の 64bit OS 対応状況につきまして

浜松ホトニクス社製 EM-CCD カメラ ImagEM は MetaMorph では DCAM-API ドライバで動作します。DCAM-API は現在 64bit OS 対応となっておりますが、ImagEM に関しては現在供給されているカメラリンク PCI ボード”AS-PHX-D24CL-PCI32-B”が 64bit OS には未対応となっております。

その為、64bit OS で使用するためにはインターフェイスボードの変更が必要となります。

新規ご注文分では 64bit バージョンで御希望の場合、同金額にて 64bit 対応の PCI インターフェイスボードで出荷いたしますので、ご注文時にご指定ください。

なお、ORCA-R2、ORCA-Flash2.8 においては 32bit/64bit 両方で動作可能なインターフェイスボードとセットで出荷させて頂いております。

・CoolSNAP HQ、cf、Cascadell などカメラボードが LVDS タイプの 64bit OS 未対応について

RoperScientific 社製カメラドライバ PVCAM は現在、64bit OS 用がリリースされていますが、現在 64bit OS で対応できるのは IEEE1394 Firewire タイプのカメラ(CoolSNAP HQ2、Evolve)のみとなっております。

白いボディの CoolSNAP HQ や Cascadell のインターフェイスボードは LVDS タイプであり、こちらは現状では 64bit OS には未対応となっておりますので、ご注意ください。

ご不明な点は当社担当までお問い合わせください。

・PC のハードディスクデフラグメントについて

MetaMorph をご使用頂いているユーザー様より MetaMorph の Live 表示が遅くなった、途中で止まる、PC の動作が以前より重くなったという連絡を頂くことがあります。

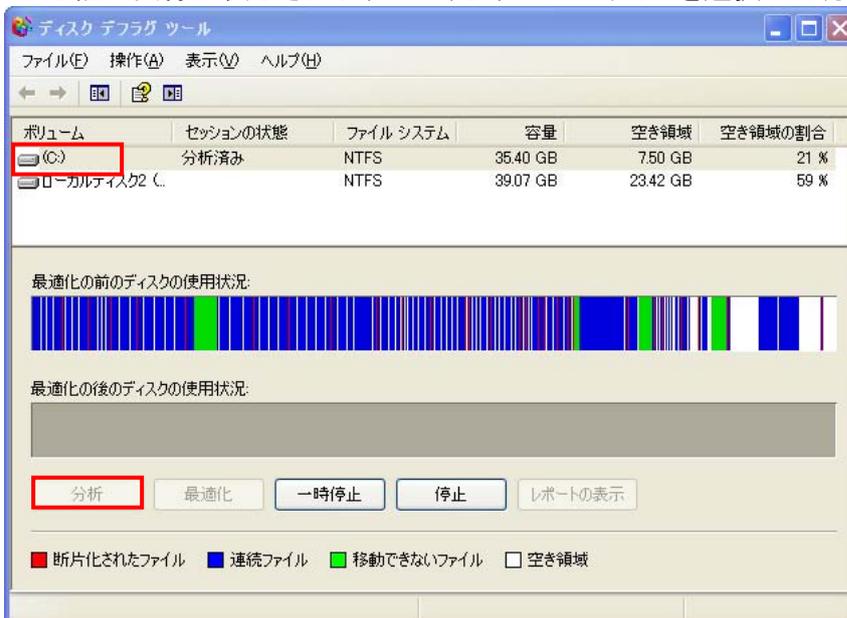
これまで問題無く動いていたシステムがこのような症状に遭遇する場合、ハードディスク内のデータ断片化が高くなっているケースが多く見られます。

このような症状が見られた場合、下記の手順に従い、ハードディスク内の最適化(データの整理整頓)をお試ください。最適化により症状が改善することがあります

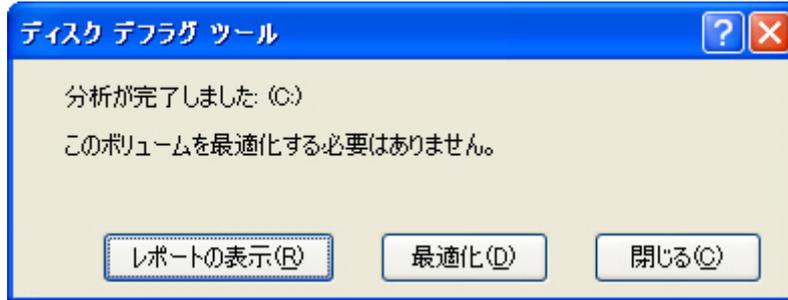
1. Windows 左下にあるスタートメニューより

スタート→(すべての)プログラム→アクセサリ→システムツール→ディスクデフラグツールを選択

2. 下記の画像が表示されますので、まずは C ドライブを選択して”分析”を押してください。



その後下記ウィンドウが表示され、最適化が必要と表示された場合は最適化を実行してください



Cドライブが完了しましたら、続いてその他の HDD (Dドライブなど) もチェックしてください。
この操作は MetaMorph に限らず、PC を使用するだけでデータは断片化していきますので、定期的に行って頂くことを推奨いたします。
断片化が大きくなると MetaMorph などのアプリケーションソフトの不具合だけでなく、最悪のケースとして HDD のクラッシュを引き起こす場合がございますので、ご注意ください。

以上